



温故知新



👁️👁️ 10月10日は「目の愛護デー」 👁️👁️

★ 疲れ目を防ぎ、目の健康づくりを心がけよう

👉👉👉 目をいたわる生活を

- ・目は外からの情報を得るための大切な器官ですが、近年、パソコンやスマートフォンなどの画面を長時間見続けて、目の疲れを感じる人が多くなってきています。また、加齢とともに白内障や緑内障、加齢黄斑変性などの目の病気にかかる人も増えています。

👉👉👉 こんな症状に注意しましょう

- ・疲れ目は、主に「目の使いすぎ」がきっかけになって起こります。次のような症状は、目からの注意信号です。
 - ・目が疲れていると感じる
 - ・目が乾いていると感じる
 - ・目やにが出る
 - ・目がかすむ
 - ・視力が低下してきた
 - ・ものが見えにくくなってきた
 - ・肩がこりやすい



👉👉👉 目の健康維持のために

- ・目の健康は生涯にわたって守り続けたいものです。次のポイントを参考にして、日常生活で目の疲れを防ぐよう努めましょう。
 - ① 目を休ませる
 - ② 目にやさしい食事をとる
 - ③ 眼科検診を受ける



アントシアニン



DHA



ルテイン



【今号の主な内容】

- P① 目の愛護デー
- P② 適正な保護具
- P③ 水抜きバルブ問題
- P④ ことわざ・次回案内

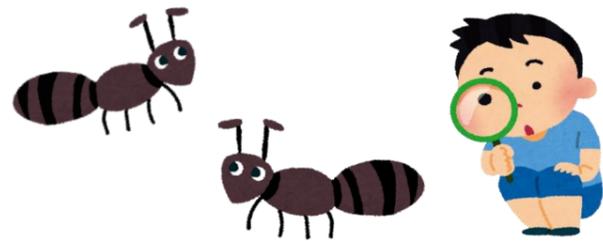


発行

野田工業 株式会社
 東京都中央区銀座6-6-19
 TEL : 03-3572-1866

ことわざ・格言にならう安全衛生訓

● 蟻の穴から堤の崩れ ● ・些細なことでも見逃すな



「蟻の穴から堤の崩れ」とは、蟻が開けたような小さな穴でも、見過ごしていると、それが原因で大きな堤が崩れることになる、つまり、ほんのちょっとした油断や不注意から、取り返しのつかない大事故を引き起こしてしまうというたとえです。

新聞やテレビ等で報道される重大事故や重大災害の原因も、はじめは些細な兆候を見過ごしたり、見逃したりした結果として発生した例が少なくありません。

次のようなことはありませんか？

決められた点検の手抜き、機械の異常音や異臭、信号の見落としや見誤り、合図の不徹底、設備等の不安全な状態や作業者の不安全な行動の無視や黙認など・・・。

これらは、多かれ少なかれあることかもしれませんが、それが職場の安全、事業場の堤を崩してしまうことになりかねません。みんなが立場・持ち場で、自分の安全の責務を果たし、危険のどんな小さな兆候でも見逃さず、直ちに措置することが必要です。

【 職長会のお知らせ 】

★日時 2020年11月20日(金)

★時間 18時00分～

★会場 銀座ユニーク 3階

ご参加ください

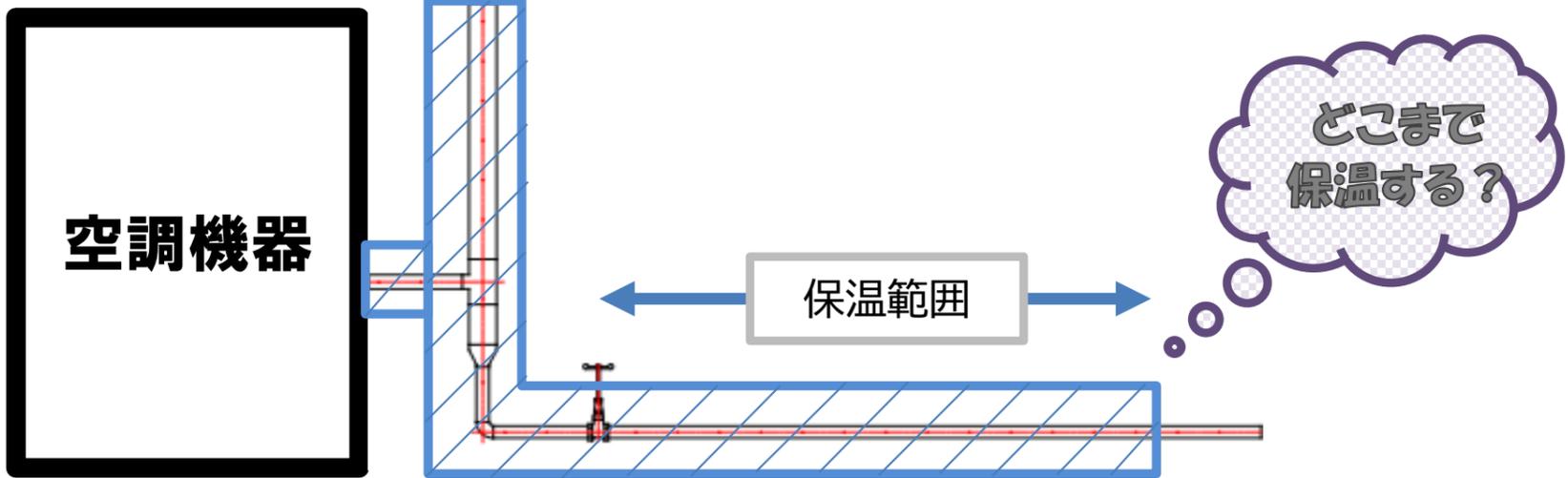
・毎年12月に行っておりました忘年会ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、残念ながら中止させていただく事になりました。代わって、12月21日(月)に職長会を開催致します。年内最後の職長会となりますのでご参加お願い致します。

野田工業株式会社

今月より、毎月のレギュラー企画といたしまして保温工事の日頃よく発生する品質トラブルや施工方法の疑問などを温故知新内で展開し、今後の施工に活かして行こう！というコーナーです。「自分はこうしている。」「こうしたらうまくいった。」などの成功例や体験談などありましたら積極的な発言をお願い致します。

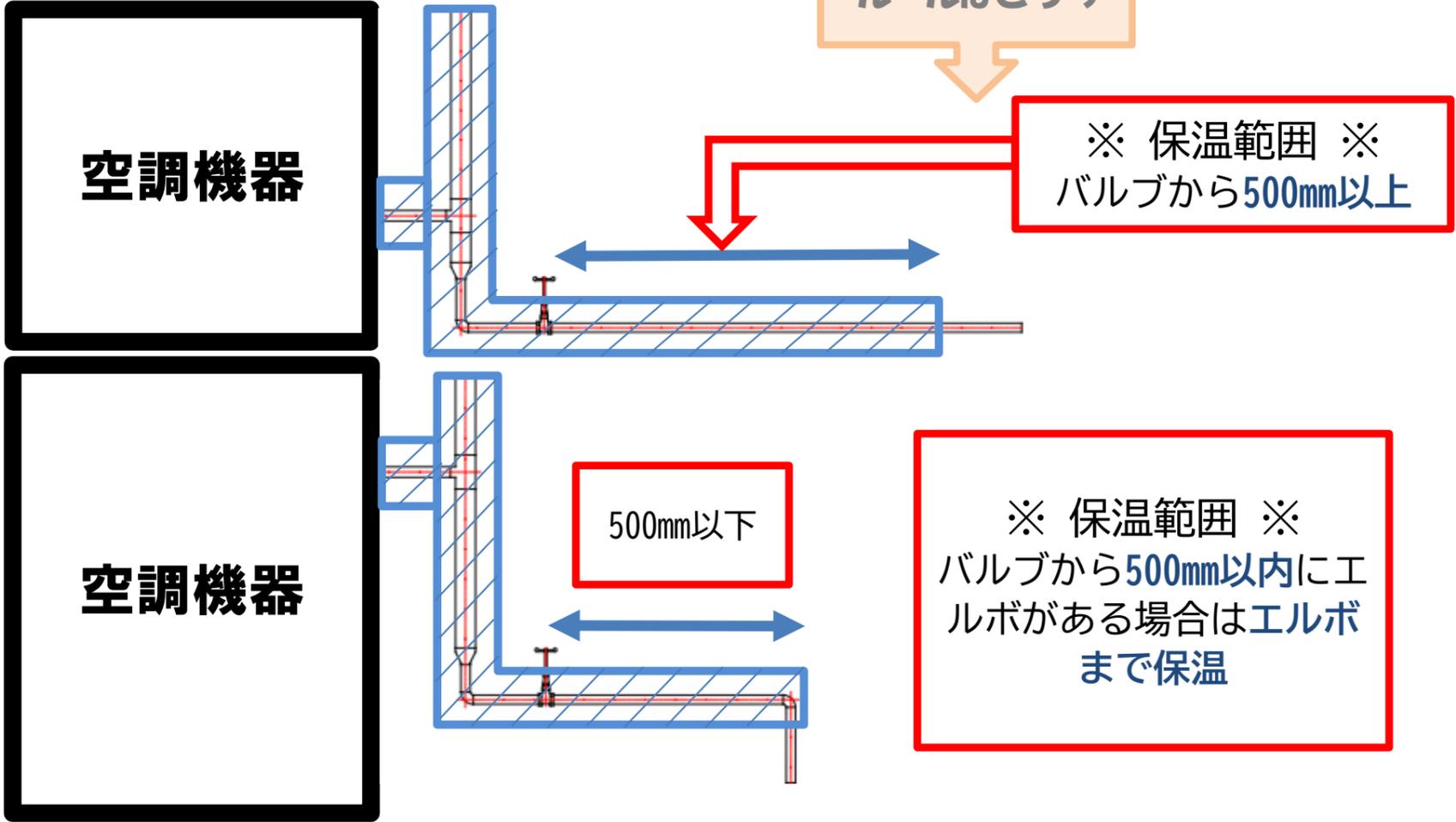
今月の議題

◎ 水抜き配管(冷水系統)のバルブ以降の保温について



・空調機械室に座っている空調機(AHU)には水抜き配管が接続せれていますが、バルブ以降の配管の保温について皆さんはどこまで保温していますか？
 今回はこちらの保温範囲についてルールを設けましたので報告させていただきます。

ルールはこちら



適正な保護具着用をお願いします。

災害事例で「保護具の適正使用が出来ていなかった。」というような内容をよく目にするかと思えます。ヘルメットの適正着用・耐切創手袋着用などなど。保温工事には関係の無いものとするのではなく、作業に当てはまる保護具を着用するように心がけて下さい。



過去の災害事例

ダクト端部を押し指を切創

災害の型	切れこすれ
起 因 物	材料
工事受注形態	下請け
発 生 日 時	2020年5月16日
被 災 者	職 種 等 電工(男・55歳)
経験年数	28 年 0 ヶ月
被災状況	左人差指切創
休業状況	不 休

状況図 (被害状況を指示すること)

災害発生時の状況

スライラルダクト搬入時、不揃いのダクト端部を押し指した際に勢い余って、隣のダクトに指をぶつけ、指を切創した

状況図

端部が不揃いな状態

端部を整えようとダクトを押しした。

接触

切創箇所

※おんこちしんに依頼する場合は手袋を外してお持ち下さい

災害発生の要因
不適切な保護具の使用

- ×手袋はしていたが、切創防止ではない
- ×ダクトの端部が鋭利である認識が希薄
- ×過去に繰り返し起きているが、社員、作業員に伝わっていない

再発防止対策

手袋は作業内容に合わせ、適切な素材の物を選ぶ

- ダクト搬入では切創防止手袋を使用
- 過去の災害事例を参考に、今起こりうる災害事例を朝礼等で定期的に周知を行う

災害状況	14FB工区 (AW取付 未)	状況図 (被害状況を指示すること)
① どのような場所で行っていたか	14FB工区 (AW取付 未)	
② どのような作業をしていたときに発生したか	配管取付中	
③ どのような物、又環境で発生したか	外部から風が吹き込む状況 特に朝から風が強くなり、埃が舞っている状況であった。	
④ どのような不安全な状態、又は有害な状態が起きていたか	配管取付中のため、特に保護メガネ等の装着は無かった。本人からのヒアリングでは風が強かったのでヘルメット付属の保護カバーを下げた状態で作業をしていた。(風よけ) 目にゴミが入ることは日常会話などで特に気にしなかったが休憩時に水道水で目を洗ったが、症状が改善しなかったため職員に報告(10:40頃)	
不安全な状態	ヘルメット付属の保護カバーを下げていたが、保護メガネは装着していなかった。	
不安全な行為	風上側に顔を向けた。	
管理監督の欠陥	強風時に保護メガネを着用するよう指導しなかった。	
対 策	強風時には保護メガネを着用させる。所定していない作業員には貸与する。建築工事が遅れているが、発生の養生も含めて開口部の窓取付を優先してもらう	



上の2つのように適正な保護具を着用していなかったことによる災害が多く発生しています。必ず、その作業にあった手袋や保護メガネなどを着用するように心がけて下さい。

保護具の紹介

耐切創腕力カバー

型番	TNA300 (10双ごとの出荷)	TNA450 (10双ごとの出荷)	DS45 (10双入り1袋)
画像			
寸法(巾×長さ×厚さ)	11.5cm×30cm×1.3cm	12cm×43cm×1.3cm	17.5cm×45cm×2.0cm
耐切創レベル	耐切創レベル3	耐切創レベル3	耐切創レベル2
特徴	・高強力ポリエチレンを使用 ・長繊維使用の為毛羽立ちが少ない ・ひんやりとした着用感 ・ひんやりとした着用感	・高強力ポリエチレンを使用 ・長繊維使用の為毛羽立ちが少ない ・ひんやりとした着用感 ・上腕部マジックテープ付	・高強力ポリエチレンを使用 ・長繊維使用の為毛羽立ちが少ない ・伸縮性に優れ、変色・硬化が少ない

耐切創手袋

代表画像 商品仕様をご確認ください

保護メガネ